

予算決算特別委員会

予算、決算等原財政について総合的に審査、調査をしています。

【審査・調査の概要】

・新年度予算の編成
 予算調査では、平成十五年度当初予算の編成状況について調査を行いました。この調査では、知事の出席を求め質疑を行うなど、県の総合計画「三重のくにづくり宣言」の推進に向けた予算となるよう、総合行政の一層の進展や従来の発想にとらわれない施策展開など様々な意見や提言が出されました。

また、決算審査では、平成十三年度一般・特別・企業会計の決算認定議案について、監査委員の審査にかかる意見や収入未済への対応等にも着目し審査が行われました。その結果、八回の委員会を開催し、十六件の決算を全て認定しました。また、県民から募集する「ミニ市場公募債」について先進地の取組を現地調査しました。

少子・高齢化・男女共同参画特別委員会

少子、高齢化及び男女共同参画に関する事項を調査しています。

【調査の概要】

・少子化対策
 今年度は、特に少子化対策に重点を置いて調査を行いました。具体的には、県当局の基本的な考え方や取組の方向を踏まえた上で、子どもを育てる環境整備の必要性など多様な観点から提言を行いました。

また、緊急課題となっている児童虐待への対応については、早期に虐待を発見できる仕組みをつくることや職員研修、対応マニュアルの充実など、多くの意見が出されました。さらに、保育事業や子育て家庭を支援する事業等について、先進地の取組を現地調査しました。

新産業 IT・環境産業等)創造 調査特別委員会

新産業、IT及び環境産業等の創造推進に関する事項を調査しています。

・中小企業対策
 今年度は、特に、既存の中小企業に対する支援内容について重点的に調査を行いました。

現在の中小零細企業の実態を踏まえ、地域で活動するこれらの企業の高度化と新展開に対する積極的な県の施策が求められ、委員から様々な意見や提言が出されました。

また、このほかにも構造改革特区や先端的成长産業の集積地をめざすクリスタルバレー・メディカルバレー・志摩サイバーベースの各構想について調査を行いました。

さらに、既存産業の再生の観点から、繊維産業で成功を収めた国内先進地の取組を現地調査しました。



議会運営委員会の活動状況

議会運営委員会

議会の運営に関するを中心に、議会関係の条例及び規則等に関する事項、議長が諮問した事項等について協議しています。

【主な協議事項】

通常、定例会等の開会前と会期中に開催され、開会前には、提出予定議案、会期と日程、質問方法などを、会期中には、請願・陳情の受理結果、質疑・討論の取扱、採決の方法、次回定例会等の日程案などを協議しています。

特に、今年度は、議場の型の変更や質問答弁の方法などについて調査検討を重ね、平成十五年第一回定例会から議場を対面演壇方式(表紙写真参照)にしました。

所属会派の変更

水谷俊郎議員は、平成十五年一月十六日付けで自由民主党議員団から無所属に会派変更しました。

なお、三月一日現在の会派別議員数は次のとおりです。(欠員一名)

会派	人数
新政みえ	25
自由民主党議員団	21
無所属・MIE	5
日本共産党議員団	2
無所属	1

議会運営委員会委員の補充選任

水谷俊郎議員の委員辞任に伴い、二月十二日の本会議で、新しい議会運営委員に中川正美議員(自由民主党議員団)が補充選任されました。

議会の窓

県議会傍聴のご案内

どなたでも本会議や委員会の傍聴ができます。議会日程をご確認のうえ、是非、県議会までお越しください。皆さまの傍聴をお待ちしております。

なお、車椅子を使用される方、盲導犬等を伴う方も傍聴できます。また、手話通訳者の手配もいたしますので、希望される方は、早めに県議会事務局議事課までお申し込みください。ただし、申し込み期日によっては手話通訳者を手配できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

●問い合わせ窓口

〒514-8570 津市広明町13
 県議会事務局議事課
 TEL 059 (2224) 2874
 FAX 059 (2229) 1931
 Eメール gikai@pref.mie.jp
 三重県議会ホームページのアドレス
<http://www.pref.mie.jp/GK/KAIS/kenji/gikai.htm>

●表紙写真の解説

三重県議会では、本会議を通じて徹底的な政策決定にかかる議論を行うため、平成十五年第一回定例会から、議場の型を「対面演壇方式」に変更しました。これまで、議員は議員席に向かって質疑・質問を行っていましたが、議員と知事・執行部が向かい合って議論できるよう変更したものです。